

<平成25年度中間決算の概要>

1. 平成25年度上期の業務概要

(1) 平成25年度上期の回収実績は、合計333億円（前年度同期700億円）となった。この結果、当社創設以来の回収額は、買取額9兆7,687億円に対し、9兆8,863億円となり、回収率は101.2%となった。

(2) 昨今の厳しい社会経済環境の中、生活の維持や事業の再建・継続に対する支援策として、中小企業金融円滑化法の施行に伴う条件変更等への取組み体制を強化し、平成25年9月末で5,736件の条件変更等を実施している。これに、当社の「条件変更等に係わるガイドライン」に基づいて実施している条件変更等8,954件を加えると、全体で14,690件となっている。

また、企業再生業務については、当社が再生計画の作成過程に関与し実施した案件は、平成25年9月末までの累計で689件となり、このうち、法的再生案件が88件、私的再生案件が601件となっている。

特定回収困難債権については、平成25年4月に第2回（5先、10百万円）の買取りを行い、累計で15先、11.7百万円となった。

2. 平成25年度中間決算の概要

平成25年度中間期は、協定後勘定及び53条勘定において債権取立等益132億円を中心に208億円の経常収益を計上したが、これら勘定は預金保険機構への納付（協定後勘定で168億円（前年度同期454億円）、53条勘定で9億円（同16億円））を行うため、納付金控除後の税引前純利益は、その他勘定（自己勘定）を中心に全体で1億円の黒字（同39億円の黒字）となった。

なお、当期を含む納付金の累計額は1兆3,924億円に達している。

(注1) 決算関係の計数については、億円未満を切り捨てて表示している。

(注2) 協定後勘定（特例業務勘定）：破綻金融機関等からの買取り債権の管理勘定
53条勘定：健全金融機関等からの買取り債権の管理勘定

以 上